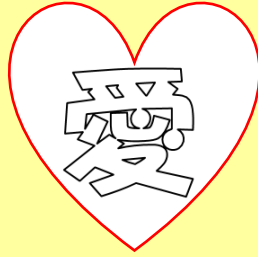


ビタミン



教育相談便り

2023/9/1

～9月号～

志貴野高等学校 保健・教育相談部



夏休みも終わり、いよいよ9月に入りました。前期終了まであともう少しというところですが、再び学校生活に慣れるまで少し時間がかかりますね。体調には気をつけて下さいね。

今回は清水スクールソーシャルワーカーから、「社会で支える」というタイトルで、介護保険制度に関するお話をいただきました。是非読んでみてください。

社会で支える

清水 剛志 SSW

介護保険制度がスタートして23年が経ちます。この制度は40歳から加入する社会保険制度です。介護保険が導入された当時（2000年）の背景には「高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズはますます増大。一方、核家族化の進行、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化。」があり、「高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組み（介護保険）を創設」されたと言われています。それまでの家族が支えるから社会全体で支えるようになりました。家族が家族を支えることは良いことですが、現実的に家族だけで支えることが難しいです。子どもの養育についても家庭で家族が支えることが難しいので保育サービスや子育て支援という外部の支援を必要としています。

介護も保育も家庭において家族が支えることから外部の支援を受けることになってきました。現在は当たり前のことなのですが、すべての人、すべての家庭に適切にマッチングしていません。何故かと言えば、支援の対象となる家庭や家族の形態が想定されている状態と異なっているからです。現状に応じた支援が求められていますが、支援の仕組みの制度が追いついていません。遅れていると言うよりも支援対象として判定しにくいと言った方が良いでしょう。家庭における若者の問題（ヤングケアラー、ニートなど）への支援についてもその様態が様々で既存の支援では足りないということになっているように思います。

しかし、既存の支援を駆使し、使える支援に改良していこうとする動きもあります。社会福祉の支援は固定化されるものでなく、社会の要望に応え続けることが基本です。ですから、私たち社会福祉の専門職は支援を求めている人と一緒に考えていきたいと思っています。





カウンセラー来校予定

SC : スクールカウンセラー
SSW : スクールソーシャルワーカー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
28	29	30	31	01 坂本SC 12:00~16:00
04	05 清水SSW 13:00~17:00	06 安川ISC 13:00~17:00	07 水野SC 12:00~15:00	08
11	12 清水SSW 13:00~17:00	13 安川ISC 13:00~17:00	14	15 坂本SC 12:00~16:00
18	19 清水SSW 13:00~17:00	20 安川ISC 13:00~15:00	21	22 水野SC 12:00~15:00
25	26 清水SSW 13:00~17:00	27	28	29



面談を希望する場合はあらかじめ連絡してください。

*来校予定日時は、変更になることがあります。

*カウンセラーによる電話相談も可能です。(0766-22-3113)

*担任、保健室の先生、教育相談系の先生に連絡してください。



～心理学★プチコラム～ えんじょききゅうこうどう 「援助希求行動」を起こそう

みなさんは、困ったときに「助けてほしい」と言えますか？

援助希求行動とは、「苦しい時や困っているときに助けを求める行動」のことを意味します。しかし、自分だけでは解決しづらい悩みや不安を抱えていても、誰にも相談したくないと考えてしまう場合もあります。

援助希求行動がしづらい人は、男子と女子、どちらに多いと思いますか？ 答えは圧倒的に男子です。「男のくせに、情けない、女々しい、格好悪い、恥ずかしい、などと言われるのではないかと考えてしまうためだと言われています。いわゆる「男のプライド」が邪魔をしてしまい、助けを求められないときもあります。

また、援助希求行動ができない人には、相談したことによって復讐されるのではないかと恐れている場合があるようです。それだけ勇気が必要なことなのです。

学校がすべての生徒にとって安心して通える環境であるために、本校では相談しやすい雰囲気づくりに努めています。そのために保健室や相談室があります。

一人で悩むことは、とても辛いことです。助けを求めることはいいことです。恥ずかしがる必要も怖がる必要もありません。何でも相談してくださいね！

